

EA630、PA760 用 バーコード照合アプリ Ver 1.0

【対応モデル】

EA630、PA760

【機能】

1 対 1 のバーコード照合、1 対多のバーコード照合、多対多のバーコード照合、照合履歴のエクスポート、削除

【照合機能】

完全一致 ※その他一致検索や文字列の編集は次回アップデートでサポート予定です

【入手方法とインストール】

以下のURLより『製品』→『モバイルコンピュータ』→『EA630 または PA760』→『ダウンロード』にアクセスし、技術情報欄から『バーコード照合アプリ』をダウンロードし、インストールします。インストール後、『UTBC』アイコンをタップしてアプリを起動します。

©ユニテック・ジャパン URL©

<https://www.ute.com/jp>

【照合アプリアイコン】




【メイン画面】



【1 対 1 照合】

バーコードを内蔵のバーコードリーダーで読み取ると、照合元→照合先の順にデータが反映され、一致の場合は“○”、不一致の場合は“×”を画面下部に表示します。照合元→照合先バーコードを交互に読み取り、1 対 1 でのバーコード照合を行います。

 ボタン……画面に表示されている照合元、照合先バーコード文字列を消去します



17:07 1:1 照合

照合元バーコード (マスタ)

照合元

照合先バーコード (チェック)

照合先



14:25 1:1 照合

照合元バーコード (マスタ)

照合元
4901234567894

照合先バーコード (チェック)

照合先
4901234567894

○



14:25 1:1 照合

照合元バーコード (マスタ)

照合元
4901234567894

照合先バーコード (チェック)

照合先
856989006539

×

【1 対多照合】


上段の入力欄をタッチすると「照合元バーコード(マスタ)のセット」ダイアログを表示します。内蔵のバーコードリーダーで照合元となるバーコードを読み取り「セット」をタッチすると、照合元データが保存されます。以降に読み取ったバーコードはすべて照合先として扱われ、1 対多でのバーコード照合を行います。照合元バーコードを切り替えたい場合は、再び上側の入力欄をタッチしてください。

 ボタン……画面に表示されている照合元、照合先バーコード文字列を消去します




【多対多照合】

複数の照合元バーコードデータを保持したマスタテーブルを作成し、そのマスタテーブル内のデータとバーコードリーダーで読み取ったバーコードとの照合を行います。
(マスタデータの作成方法は次項をご覧ください。)

 ボタン……マスタテーブルを作成、または置き換えます

 ボタン……作成されたマスタテーブルをリスト表示します

 ボタン……作成されたマスタテーブルを削除します



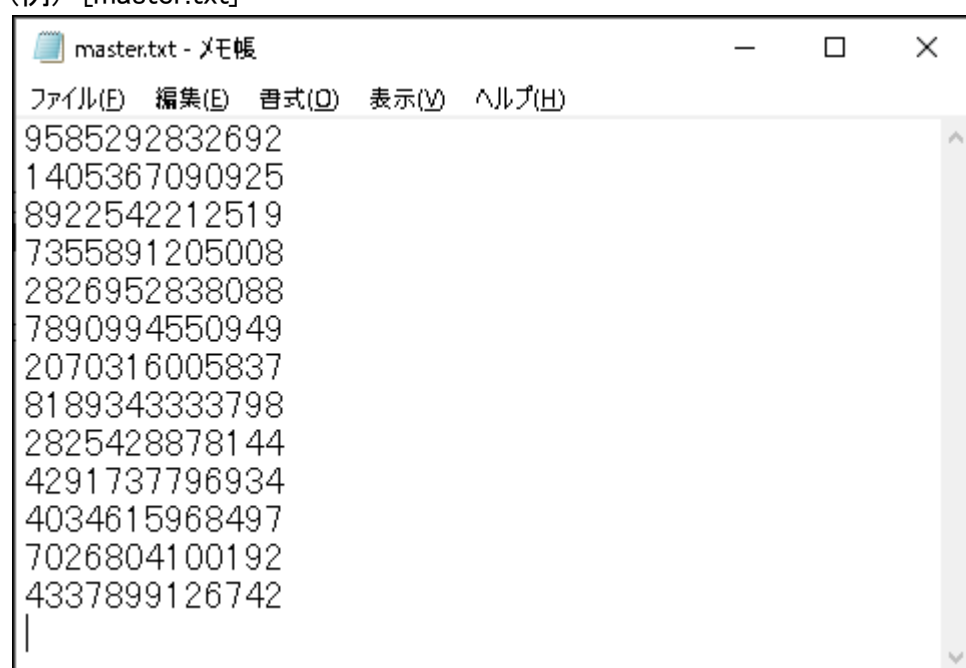
【マスタテーブルの作成】

⊕ ボタンをタッチしマスタファイルをアプリにインポートすることで、マスタテーブルを作成します。マスタテーブルはアプリ内のデータベースに保存され永続化します。

マスタファイルは以下の仕様で作成します。

- ・ファイル形式……テキストファイル、または CSV ファイル
- ・ファイルエンコード……Shift_JIS
- ・データ区切り……改行

(例) [master.txt]



【履歴とファイル保存】

バーコード照合後に結果を履歴として自動で保存します。保存される情報は次の通りです。


- 照合元バーコード文字列
- 照合先バーコード文字列
- 結果(合格、または不合格)
- タイムスタンプ(年-月-日 時:分:秒.ミリ秒)


(例) 2021 年 2 月 5 日 16 時 3 分 44 秒に保存されたファイル名



【照合履歴とファイル保存】

最初に「検索」を行います。表示された履歴情報は、「絞り込み」を使用して「合格のみ」「不合格のみ」「合格、不合格両方(デフォルト。絞り込みなし)」の3パターンで絞り込みが出来ます。

 ボタン……履歴データを任意のファイル名で任意の場所へ保存(エクスポート)します。保存される履歴データは、「検索」したもののみです。アプリに記憶されているすべての履歴情報を保存したい場合は、「すべて」を検索してください

 ボタン……アプリに記憶されているすべての履歴情報を完全に削除します。履歴情報が肥大化し、検索に時間がかかる場合などに実行してください

【注意事項】

アプリをアンインストールすると、履歴は削除されます。履歴は定期的に保存して PC へコピーすることをお勧めします

[検索]

- すべて: アプリの保持する履歴情報をすべて表示します
 - 日付指定: アプリの保持する履歴情報から、特定の日付のみを抽出して表示します
 - 日付範囲指定: アプリの保持する履歴情報から、特定の日付範囲を抽出して表示します
- 検索した履歴情報は、以下のように表示されます。文字列が多い場合は後方が省略されて表示されます。データカードをタッチすると、全文が表示されます



この図は、履歴データの検索と保存のワークフローを示しています。

検索画面 (左): 「照合履歴」タブで「検索」ボタンが押された状態です。検索条件として「すべて」「日付指定」「日付範囲指定」のいずれかを選択し、「絞り込み」で「合格」または「不合格」を選択します。検索結果は、照合元、照合先、照合結果、照合日時が示されたカード形式で表示されます。

確認ダイアログ (右上): 「履歴をファイル保存」操作時の確認画面です。メッセージは「検索された履歴を保存します。*絞り込み状態は無視されます。」です。「キャンセル」または「OK」を選択します。

保存されたファイル一覧 (右下): 保存されたファイルのリストです。ファイル名は「2021-02-05T16_03_44.649.txt」で、サイズは「1.38 Kb」です。他のファイルとして「LauncherApp.txt」(26.00 bytes)、master.txt (195.00 bytes)、MS852 SE2707.xlsx (10.97 Kb) も表示されています。

【PCから保存データを取り出す】

PCと EA630 または PA760 をUSBケーブルで接続します。

画面上部から指でスライドし、USBファイル転送モードを引き出しタッチします。

